

**項目名：トップアスリートの発掘・育成・強化のための企業との連携**

**1. テーマ選定**

- 現在、オリンピック・パラリンピックやアジア・アジアパラ競技大会等の国際大会で活躍できる県内選手の発掘・育成・強化事業では、スポーツ教養講座の講師や競技体験活動の指導者の派遣等において、県内の競技団体を中心に、大学や企業とも連携しながら県内有望選手の発掘とトップアスリートへの育成に取り組んでいる。
- トップアスリートの強化においては、事業の更なる充実を図るため、国際大会での活躍を目指すアスリートが安心して競技活動に専念することができる環境が必要であり、スポーツでの地域貢献に前向きな県内企業との連携について検討する。

**2. 現状把握**

- トップアスリートの発掘・育成では、主に競技団体と連携し、指導者派遣、活動場所の提供を受けている。  
2021年度に初めて**企業チームと連携し**、1件の活動を行った。より活動を充実させるため、**2023年度には競技団体の意向を踏まえ、企業連携による活動を2件行った。**

**【企業との連携事例】**

年度	連携事例
2021	トヨタ自動車衣浦工場ビーチバレーボールコートを使用し、トヨタ自動車ビーチバレーボール部のコーチによる実技指導
2023	名古屋グランパス（本社）による、スポーツ栄養及びスポーツ医学に関する講義 ウルフドッグス名古屋（TG SPORTS株）によるバレーボールの実技指導

- トップアスリートの強化では、国際大会への遠征費や競技用具の購入など競技活動には**多額の費用**がかかるため、**県による強化指定選手への活動支援**とともに、JOC（（公財）日本オリンピック委員会）主催の「アスナビ」説明会を中部経済同友会と県とで共催し、アスリートの就職支援に取り組んでいる。  
しかし、**県の活動支援には限りがあること**に加え、「アスナビ」に登録できるアスリートは、JOC・JPC（日本パラリンピック委員会）強化指定選手及び中央競技団体推薦の大学4年生に限定されており、「アスナビ」に参加できない**本県強化指定選手**もいる。また、愛知県開催の参加企業は**中部経済同友会員に限られている。**

**【本県強化指定選手の現状】**

年度	競技団体推薦者	強化指定選手	大学4年	高校3年	備考
2019	376名	319名	23名	19名	年齢制限なし
2020	195名	195名	9名	18名	健全者は、22歳以下（大学生まで）の選手を対象
2021	191名	184名	19名	19名	
2022	189名	182名	18名	18名	
2023	259名	183名	9名	9名	年齢制限なし

**3. 目標設定**

- 国際大会での活躍を目指すアスリートが、競技力向上に安心して専念でき、引退後も安定した生活を送ることができるよう、企業からの活動支援や雇用に繋がる仕組みを充実することで、**県ゆかりのトップアスリートの輩出を促進する。**

**4. 要因解析**

- トップアスリートの活動支援に前向きな県内企業に関する情報の把握が十分にできていない。
- 県から企業に対し、トップアスリートの活動支援や雇用等に取り組むための道筋や仕組み等を示すことができていない。

**5. 対策立案**

**【手順①：県内企業及び地元アスリート（パラアスリートを含む）が希望する支援等の情報把握】**

- あいちスポーツコミッション会員を始め、県内の経済団体からの情報提供及び聞き取り調査等により、スポーツ活動支援に前向きな県内企業及び希望する支援内容について情報収集を行う。
- 県強化指定選手候補として、競技団体から推薦のあった日本代表レベルの競技力を有する選手を対象に調査を行い、**企業による支援に対するアスリートのニーズをまとめる。**

**【手順②：県内企業のトップアスリート（パラアスリートを含む）の活動支援や雇用を促進する仕組みに関する検討】**

- 企業等と更なる情報交換等を重ね、県ゆかりのトップアスリートの輩出を促進していくために、企業からの活動支援や雇用に繋がる仕組みの実現に向け、検討を行う。

**（企業からの活動支援や雇用に繋がる取組の例）**

- ・ スポーツでの地域貢献に前向きな県内企業を県が認定し、認定企業に、企業からの支援や雇用等を希望する本県強化指定選手等のトップアスリートの情報を提供する。
- ・ 支援を必要とするトップアスリートがアスリート支援に前向きな企業に関する情報を得ることができ、マッチングにつながるように、県の認定企業を県webページで公開する。
- ・ 県の認定企業が、本県強化指定選手等のトップアスリートを雇用するインセンティブとなる仕組みを作る（雇用したアスリートの遠征費や企業名を記載した用具・ユニフォーム等の作成経費等の一定額を補助等）。 など

**6. 今後の進め方**

2023年度	2024年度	2025年度以降
・アスリート支援に前向きな企業及びアスリートが希望する支援内容に関する情報収集	→	・企業からの活動支援や雇用促進に関する取組の開始
	・企業とのヒアリング及び調整 ・企業からの活動支援や雇用に繋がる仕組みの立案	

オリンピック・アジア競技大会等選手強化事業

本県強化指定選手数について

強化指定区分	オリンピック・アジア競技大会強化指定選手 上限30万円
及び交付額	パラリンピック・アジアパラ競技大会強化指定選手 上限50万円
指定条件	オリンピック・アジア競技大会等国際競技大会への出場を目指す選手で、競技団体から推薦された者。指定期間は当該年度の4月1日から3月31日までとする。
【実績に関する条件】	<p>次の全てに該当すること(過去2か年度以降の実績を対象とする。)</p> <p>○オリンピック・アジア競技大会強化指定選手</p> <p>日本代表及び日本代表候補(年代別カテゴリーを含む)</p> <p>※ 競技団体は、日本代表等に選出されている選手がいない場合に限り、記録や大会成績をもとに、日本代表・代表候補と同等の競技力がある者を推薦することができる。(各競技団体最大2名まで)</p> <p>○パラリンピック・アジアパラ競技大会強化指定選手</p> <p>日本代表及び日本代表候補(年代別カテゴリーを含まない)</p>
【実績以外の条件】	<p>本県ゆかりの選手で次のいずれかに該当すること。</p> <p>① 愛知県に活動拠点がある(県内に在勤・在学をしている)。</p> <p>② 愛知県で選手登録している。</p> <p>③ 愛知県内の小学校もしくは中学校を卒業した。</p>
その他	<p>① 事業期間は当該年度の4月1日から1月31日までとする。</p> <p>② 事業計画終了後、速やかに(1か月以内)報告書を提出すること。</p> <p>③ 実績報告書は1月31日まで(消印有効)に提出すること。期限を過ぎた場合は強化費を支給しない。</p>

<2019年度>

強化指定選手数 オリンピック・アジア競技大会等 281名 (内大学生～社会人200名)  
 パラリンピック・アジアパラ競技大会等 38名 計319名

※ 現行の選手強化事業の前身(2020年東京オリンピック・パラリンピックあいち選手強化事業)による認定

<2020年度>

強化指定選手数 オリンピック・アジア競技大会等 168名※  
 パラリンピック・アジアパラ競技大会等 27名 計195名

※ 東京2020オリ・パラ延期に伴い認定した、23歳以上28名を含む

<2021年度>

強化指定選手数 オリンピック・アジア競技大会等 152名  
 パラリンピック・アジアパラ競技大会等 32名 計184名

<2022年度>

強化指定選手数 オリンピック・アジア競技大会等 148名  
 パラリンピック・アジアパラ競技大会等 34名 計182名

<2023年度>

強化指定選手数 オリンピック・アジア競技大会等 153名 ※  
 パラリンピック・アジアパラ競技大会等 30名 計183名

※ オリンピック・アジア競技大会等強化指定選手の年齢制限廃止

## 「アスナビ」について

- 「アスナビ」は、現役トップアスリートと企業とをマッチングするために2010年から始まった（公財）日本オリンピック委員会（JOC）の就職支援制度。

正式名称は「トップアスリートの就職支援ナビゲーション」。

- オリンピック・パラリンピックや世界選手権などを目指すトップアスリートが、企業の社員として採用されることで、生活環境が安定し、競技活動に専念できる環境を整えるとともに、企業サイドには、トップアスリートを採用し応援することで、社内に新たな活力が生まれることが期待できるなど、アスリートと企業との間にWin-Winの関係を築いていくことを目的としている。

- 「アスナビ」に登録できる選手
  - ・（公財）日本オリンピック委員会（JOC）、（公財）日本パラスポーツ協会日本パラリンピック委員会（JPC）の強化指定選手
  - ・中央競技団体から推薦された、就職協定に基づき就職活動を行う大学4年生

- 登録人数（2023年5月17日現在）は全国で28名

〔  
 オリンピックを目指す選手 26名（うち中部希望者：6名）  
 パラリンピックを目指す選手 2名（うち中部希望者：0名）  
 〕

- 「アスナビ」を通じて就職した選手（2023年4月6日現在）は全国で367名（219社・団体）

## 愛知県での「アスナビ」説明会の開催実績（これまでに7回開催）

主催：（公財）日本オリンピック委員会

共催：中部経済同友会、愛知県（4回目（2019年6月）から参画）

年度	参加企業等	参加選手数	採用決定者数	備考
2012	64社75名	4名	3名	
2014	60社79名	6名	4名	
2016	44社52名	7名	0名	
2019	54社62名	6名	4名	※愛知県初参画 ・高原宜希選手（スノーボードクロス/福井県出身/中京大学卒） → 敷島製パン(株)（名古屋市東区） ・遠藤雅也選手（ライフル射撃/岐阜県出身/日本大学卒） → 名阪急配(株)（春日井市）
2021	24社30名	6名	1名	※オンライン形式 ・大橋朋花選手（アーチェリー/岐阜県出身/近畿大学卒） → 日本特殊陶業株式会社（名古屋市東区）
2022	22社28名	5名	4名	・馬場晴菜選手（フェンシング/岐阜県出身/日本大学卒） → 天野エンザイム株式会社（名古屋市中区） ・倉 菜々子選手（スポーツライミング/刈谷市出身/名古屋芸術大学中退） → 新東工業株式会社（名古屋市中村区） ・オト パウリネ恵美里選手（ビーチバレーボール/豊田市出身/産業能率大学）本県強化指定選手 → 社会医療法人宏潤会大同病院（名古屋市南区） ※谷地 宙選手（スキー/岩手県出身/早稲田大学） → 日本航空株式会社（東京都でのアスナビ説明会で内定）
2023	24社34名	6名	未定	